

令和4年（2022年）1月25日

横須賀市長 上 地 克 明 様

横須賀市議会
新型コロナウイルス感染症対策検討協議会
委員長 西 郷 宗 範

新型コロナウイルス感染症への対策等に関する要望・確認事項について

新型コロナウイルス感染症への対策等について、下記事項を本書により要望・確認いたします。

記

- 1 経口薬等の安定供給について
 - ・令和3年12月に厚生労働省から特例承認を受けた経口抗ウイルス薬モルヌピラビルの安定供給が、厳しい状況と聞いているが、配分についての見通しと供給の体制をどう考えるか確認したい。
 - ・一方、中等症より上の症状に対する処方として、本市では、点滴ソトロビマブの供給状況はどうなっているか確認したい。
- 2 抗ウイルス薬及び中和抗体療法の対象者の選別について、その判断基準はどのようなものか確認したい。
- 3 集団接種会場や市内医療機関でのワクチンロスを削減するため、前回と同様に、警察、消防、教職員、介護職従事者などに優先的に接種できるようにするのか確認したい。
- 4 交接種に関する不安や接種の有効性に不安を持っている方がいるため、3回目接種を控えるような動きがあると聞いた。不安払拭のためどのような取り組みをしているのか確認したい。
- 5 3回目のワクチン接種が昨年末から始まっている。周知や市民対応、市内医療機関や集団接種会場の体制等の状況はどうか。今後の計画も含め確

認したい。

6 放課後児童クラブや介護施設、高齢者施設などの職員や利用者に陽性者が発生した場合、保健所から施設の所管課へ情報提供があるのか。また、施設に陽性者が発生した場合、所管課は当該施設に対して直接状況確認を行うこととなっているのか確認したい。

7 オミクロン株の感染が急拡大する中での学びの保障については、令和4年1月11日の文部科学大臣記者会見において、臨時休業等を実施する学校において切れ目なく学びが継続できるよう、オンラインによる学習体制の整備と準備を確実に進めるとしている。

また、同会見において、臨時休業等の際の端末の持ち帰り学習の準備ができていないか、速やかに取組状況を点検し、公表するとしている。

感染の拡大状況と上記の国の動きを踏まえ、本市においても端末の持ち帰り学習ができるよう具体的な取組みを進めていただきたい。

臨時休校や学級閉鎖時において切れ目なく学習を継続するために、自宅等から各自所有する端末を接続してオンライン授業ができるよう準備を進め、その際、端末や通信環境のない家庭については、Wi-Fiルーターの貸し出し等で対応するか、該当する児童生徒のみ登校できるような手法を構築していただきたい。

8 一時預かり事業や学童保育など、利用人数に応じて補助金の変わる事業があるが、令和2年度にはコロナ禍で減った分の利用に対して補填がなされたが、今年度もその対応がなされるのか。その場合、今年新たに事業を始めた事業所などへの対応はどう考えているのか確認したい。

9 1月19日付けの保育施設利用者に対する「まん延防止等重点措置期間での保育施設の利用について」のお知らせにおいて、保育施設の必要最小限の利用について協力を依頼しているものの、保育料、給食費等の日割りによる減免はない、と書かれている。

以前のコロナ協議会で、保育施設の利用抑制の効果について確認した際、「感染状況を注視しつつ、今まで以上の利用抑制を図る必要があると判断した場合は、保育料の日割りを行う等のインセンティブを提示することや、職種を絞って利用を制限する等が考えられます。しかし、市税の投入や市民生活に大きな影響を及ぼすため、慎重に検討していきたいと思います。」

という回答であった。

今回、この通知を出すに当たり、保育料の日割り減免について検討を行ったのか、行ったとすれば、どのような判断をもって今回の決定に至ったのか、経緯を確認したい。

- 10 手洗い時の感染予防対策として、自動水栓機や抗菌コーティングは有用だと聞く。市の施設では一部が自動水栓機や抗菌コーティングはされているが、多くは手動、未加工である。感染対策の一環として自動水栓機の設置や抗菌加工の検討はなされたのか確認したい。

- 11 感染拡大に伴って、市の様々な行事、また審議会、協議会等の会議の縮小、延期、中止等の判断はどのように行われるのか。市民活動で使用されるコミセン等の使用中止の判断はどのように行われるのか。「オミクロン株」の置き換わりを見越した中で今までとの違いがあるのか確認したい。